

次期長野県がん対策推進計画の基本構成（案）について

令和5年9月12日

保健・疾病対策課

ロジックモデルに基づき、以下の構成で記載

第1節 がん対策（長野県がん対策推進計画）

I がん対策の目指す姿について

1 現状

- (1) がん患者数・罹患率の状況
- (2) がんによる死亡の状況
- (3) がん対策に関する県の推進体制
- (4) 医療従事者

がん全体の数値等の現状

2 目指す姿（分野アウトカム）

県民ががんの予防につとめるとともに、罹患した場合も必要な医療を受け、安心して暮らすことができる

ロジックモデルの分野別アウトカム

3 目指す姿の実現のための3つの基本目標（中間アウトカム①）

- (1) がんの発症を予防できている
- (2) 住む場所に関わらず必要な検診や医療を受けることができる
- (3) 全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができています

ロジックモデルの中間①アウトカム

数値目標

1 中間アウトカム①指標

Ⅱ がんの発症を予防するために

1 県民ががんを正しく理解し、予防行動につとめている。

(1) 予防・健康づくりの普及啓発

ロジックモデルの「予防」の
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

Ⅲ 住む場所に関わらず必要な検診や医療を受けることができる

1 精度の高いがん検診の受診

(1) 科学的根拠に基づくがん検診の実施と受診率向上対策

(2) がん検診の適切な精度管理

ロジックモデルの「検診」の施策ごとの
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

2 質の高い科学的根拠に基づく医療の提供

- (1) 医療提供体制の均てん化・集約化の推進
- (2) がんゲノム医療の推進
- (3) 科学的根拠に基づく手術療法・放射線療法・薬物療法の推進
- (4) 連携体制の推進（チーム医療・地域連携等の推進）
- (5) がんのリハビリテーションの推進
- (6) 支持療法の推進
- (7) 診断時からの緩和ケアの推進
- (8) 妊孕性温存療法の推進
- (9) 個別のがん（希少・難治性・小児・AYA・高齢者）対策の推進
- (10) がん登録の利活用の推進

ロジックモデルの「医療」の施策ごとの
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

IV 全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができてきている（がん医療、がんとの共生）

- 1 がんに対する理解が深まり、社会全体で支援を行う環境づくり
- (1) がんに関する情報提供やがん相談支援センター等の相談支援体制の充実
- (2) 社会連携に基づくがん対策・がん患者等支援の推進
- (3) 就労支援等の社会的支援の実施・促進

ロジックモデルの「共生」の施策ごとの
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

○ 指標について

- ・ 一部指標については、国において現状値や目標値の設定がなされていない。
- ・ 国の調査実施の動向を注視する必要がある指標がある。(患者体験調査、遺族調査)
- ・ これらは、国の目標設定に関する動向を注視し、検討を進める。

○ 本文案中の着色について

- ・ 黄色・・・ 作業部会での意見を反映したか所
(資料7の反映内容)
- ・ 青色・・・ 更新作業中のか所